



# 広島市立大学 後援会だより

第 31 号  
発行:広島市立大学後援会事務局  
発行日:平成22年 9 月30日  
〒731-3194 広島市安佐南区大塚東  
三丁目4番1号  
TEL 082-830-1522

## 平成22年度 後援会総会開催

平成 22 年 6 月 26 日 (土) 午前 10 時から、本学大会議室において、平成 22 年度後援会総会が開催されました。総会では出席された保護者のみなさまから活発な意見が出され熱心な審議が行われたのち、平成 21 年度決算、平成 22 年度事業計画・予算、役員を選任等がいずれも承認されました。また、総会に引き続き、開催した「学長との懇談会」では、学長が大学の現況を話された後、保護者の方々から寄せられた質問・要望に対して、学長が自ら丁寧に答えられ保護者との活発な意見交換が行われました。

### 会長あいさつ

後援会会長 多田 雄一



後援会会長に再任されました多田でございます。昨年に引き続き、後援会会員の保護者の皆様方のご支援、ご協力を得て、学生を応援し大学をバックアップし魅力的な大学として盛り上げていこうと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

後援会は学生生活を支援することを目的に、平成 6 年の開学と同時に設立されて以来、傷害保険への一括加入や食堂・売店の運営など学生の福利厚生事業、クラブ活動助成など課外活動の支援事業、大学説明会・懇談会の開催など就職開拓事業、卒業アルバムの作成や卒業祝賀会の開催といった卒業記念事業など、様々な活動を行ってきております。

昨今の深刻な経済不況の影響を受けて就職状況も厳しい状況となっており、後援会として就職支援事業に力を注ぐよう取り組んで参ります。企業の採用担当者を招き大学の魅力や本学の学生の資質を PR する場としている「大学説明会・情報交換会」を昨年に引き続き市内ホテルで開催いたしますが、今年度は 11 月 5 日 (金) に行うようにしており先取りした PR に努めているところです。その他、公務員試験対策セミナーの開催や学生が就職希望先を研究するための企業見学、大都市圏での合同企業セミナー参加助成など就職活動を円滑に進められるよう幅広い選択肢を設けています。

今年度は、大学公認のクラブ・サークル等が 52 団体から 57 団体に増え、学部生のクラブ・サークル等加入率は 57% という大変高い割合になっています。後援会では、クラブ・サークル活動費の他、大会出場費や高額備品の整備費を助成し、学生が充実した大学生活を過ごせるよう支援しています。

また、大学では、学生の自主的、積極的な活動を広く褒め讃え学生を勇気づけるなど学生の意識高揚につながるよう学生表彰をおこなっています。後援会もこれに賛同し、表彰を受けた学生への記念品を負担していくこととしています。

大学は、4 月から公立大学法人として新たなスタートを切っており、これまで以上に教育研究や学生支援に積極的に取り組んでいくことと思います。後援会としても、様々な支援を大学と一体となって取り組んでいくことで相乗効果が生まれ大学が魅力的になっていくものと考えております。学生が充実したキャンパスライフを過ごせるよう応援してまいりますので、今後とも保護者の皆様におかれましては、後援会の運営につきまして、より一層のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

### 平成22年度 役員紹介

役職	名前	学部	学科	学年
会長	多田 雄一	情報科学部	知能工学科	3
副会長	歳實 勲	国際学部	国際学科	4
〃	荒川 宣昭	国際学部	国際学科	3
〃	若林 真一		(副学長)	
監事	梶川 彰彦	国際学部	国際学科	4
〃	中本 和恵	情報科学部	知能工学科	3
理事	橋本 恵美	国際学部	国際学科	4
〃	木村真由子	国際学部	国際学科	4
〃	小形久美子	芸術学部	美術学科	4
〃	塚田 玲子	芸術学部	デザイン工芸学科	4
〃	川本 妙美	国際学部	国際学科	3
〃	味野 一代	国際学部	国際学科	3
〃	林 達雄	情報科学部	情報工学科	3
〃	日野 善隆	情報科学部	知能工学科	3
〃	岡野 英子	芸術学部	美術学科	3
〃	小川 栄	芸術学部	デザイン工芸学科	3
〃	栗原 美香	国際学部	国際学科	2

役職	名前	学部	学科	学年
理事	小林 恵	国際学部	国際学科	2
〃	関 和典	国際学部	国際学科	2
〃	奥 雅美	情報科学部	(学部配属)	2
〃	土居 満	情報科学部	(学部配属)	2
〃	吉田こずえ	情報科学部	(学部配属)	2
〃	大下 知子	芸術学部	デザイン工芸学科	2
〃	田中みゆき	芸術学部	デザイン工芸学科	2
理事(新任)	内田 智久	国際学部	国際学科	1
〃	堀本 隆子	国際学部	国際学科	1
〃	山本 明美	国際学部	国際学科	1
〃	草田 尚子	情報科学部	(学部配属)	1
〃	竹岡 和江	情報科学部	(学部配属)	1
〃	柚木由佳里	情報科学部	(学部配属)	1
〃	叶丸由美子	芸術学部	美術学科	1
〃	奥田 洋子	芸術学部	美術学科	1
〃	水野 聡子	芸術学部	美術学科	1
理事	仙波 俊文		(教務学生室長)	

## 平成21年度決算及び平成22年度予算（一般会計）

### 〔収入の部〕

【単位:円】

科 目	平成21年度 予算(A)	平成21年度 決算(B)	差額 (B-A)	平成22年度 予算(C)	前年度比 (C/A)	平成21年度 主な事業
会 費 収 入	22,310,000	23,210,000	900,000	22,300,000	100.0%	
雑 収 入	89,913	170,665	80,752	76,837	85.5%	預 金 利 子 等
小 計	22,399,913	23,380,665	980,752	22,376,837	99.9%	
繰 越 金	2,980,087	2,980,087	0	5,548,163	186.2%	
合 計	25,380,000	26,360,752	980,752	27,925,000	110.0%	

### 〔支出の部〕

【単位:円】

科 目	平成21年度 予算(A)	平成21年度 決算(B)	差額 (B-A)	平成22年度 予算(C)	前年度比 (C/A)	平成21年度 主な事業
会 議 費	28,000	19,608	▲8,392	34,000	121.4%	理 事 会、総 会 費
事 務 費	1,100,000	865,124	▲234,876	1,100,000	100.0%	会 報 印 刷 費 等
厚 生 補 導 費	2,789,400	2,588,668	▲200,732	2,653,040	95.1%	災 害 傷 害 保 険 料 等
課 外 活 動 助 成 費	9,220,000	9,105,750	▲114,250	10,020,000	108.7%	ク ラ ブ 活 動 助 成 等
就 職 開 拓 費	3,575,000	2,590,179	▲984,821	3,575,000	100.0%	大 学 説 明 会 等 開 催
卒 業 記 念 事 業 費	5,090,000	4,890,360	▲199,640	4,964,000	97.5%	卒 業 ア ル バ ム 制 作 等
教 育 研 究 助 成 費	1,000,000	395,389	▲604,611	1,000,000	100.0%	自 主 研 究・創 作 活 動 等 助 成
国 際 交 流 費	300,000	245,000	▲55,000	300,000	100.0%	外 国 人 と の 交 流 事 業 助 成
環 境 整 備 費	99,000	39,431	▲59,569	99,000	100.0%	ガ ー デ ン パ ラ ソ ル 修 繕 等
雑 費	150,000	73,080	▲76,920	130,000	86.7%	振 込 手 数 料 等
小 計	23,351,400	20,812,589	▲2,538,811	23,875,040	102.2%	
予 備 費	2,028,600	0	▲2,028,600	4,049,960	199.6%	
合 計	25,380,000	20,812,589	▲4,567,411	27,925,000	110.0%	

## 平成22年度事業計画

- ① 厚生補導(学生教育研究災害傷害保険及び付帯賠償責任保険への加入・給付、法律相談の実施、学生表彰の副賞の提供、地元町内会との地域交流)
- ② 課外活動の支援(クラブ活動費・備品等助成、大学祭助成、大会出場費助成、ボランティア活動助成)
- ③ 就職開拓(大学説明会・情報交換会、市大業界研究参加ツアー、企業見学、公務員試験対策セミナー等)
- ④ 卒業記念(卒業祝賀会、卒業アルバム・記念品製作)
- ⑤ 教育研究の支援(自主研究活動・創作活動等への助成)
- ⑥ 国際交流活動の支援(留学生等との交流事業助成)
- ⑦ 環境整備(ガーデンパラソルの更新)
- ⑧ 後援会だよりの発行

## 学研災付帯学生生活総合保険のご案内

ここにご紹介する「学研災付帯学生生活総合保険」は、大学管理下のみ補償制度となる学研災でカバーできない学生生活に関わる全般を、24時間学内外を問わずに補償する保険です。

最近の、学生のライフスタイルを見ますと非常に交通事故やスポーツ中の傷害事故件数が増えています。また学生が誤って、他人の物を壊したり、他人にケガを負わせるいわゆる賠償事故も散見されます。

本保険は、学生のケガや病気の補償をはじめ、賠償事故に関する補償、扶養者の方が万一の事故で亡くなった場合の学業費用をお支払いするなどの特色を備えています。

また、文部科学省所管の(財)日本国際教育支援協会の団体制度となりますので、割引率もあり掛金など有利となっております。

ご加入については任意ではございますが、保険の詳細内容・加入方法・保険料等は下記取扱代理店までご連絡いただき、ご加入を検討下さいませようお願い致します。

<取扱代理店> (株)広島アクションサービス TEL:082-235-1125

# 大学・後援会の就職支援 ～就職相談室から～

## 就職活動全般について

平成21年度の就職状況は、学部卒業生の就職率が93.8%と昨年度を4.3ポイント、大学院修了生の就職率が96.0%と昨年を1.3ポイントそれぞれ下回りました。全国の就職率91.8%、広島県88.5%に比べると高い就職率となっていますが、依然厳しい数値となっています。詳細な情報を別紙にまとめていますのでご覧ください。

来年3月の学部卒業予定者の就職内定状況は、9月15日現在で58.4%の内定率と昨年同期を7.0ポイント、大学院修了予定者の就職内定率は64.8%と昨年同期を13.2ポイントそれぞれ下回っています。

このため、8月3日に、引き続き就職活動を続けている本学学生や既卒者を対象に、採用意欲のある企業22社を招き、学内において合同企業就職説明会を開催しました。

事務局としては、今後、直接個人ごとに連絡を取り、就職活動のアドバイスや最新の求人情報の提供を行い、全員ができるだけ希望に沿った就職ができるよう精一杯取り組んでいきたいと思えます。

また、既に内定を得た企業先をみると、マツダ(株)、中国電力(株)、(株)アサヒビール、東京海上日動火災(株)、キヤノン(株)、ソニー(株)、富士通(株)、NEC(株)、NTTドコモ等の大手企業に内定している学生も見受けられます。

就職環境の厳しさばかりが報道され、学生の大手安定志向の傾向が一層高まっています。しかし、絶対につぶれない企業はありませんし、公務員でさえどうなるかわからない時代です。不況に強い企業を探すより、働き続けられる環境の企業であるかどうか。知名度や人気だけでなく、自分に適した企業を幅広く選択することが大切だと考えます。

## 次年度卒業予定者に対する就職支援事業について

### 企業インターンシップ

企業で就業体験する「インターンシップ」に本学も積極的に取り組んでいます。今年度は56名が参加し就業体験をしました。まず、4月に事前説明会を実施し、参加するための流れや方法について説明をしました。5月・7月に事前セミナーを実施し「社会人マナー」など座学だけでなく実習も行いました。後期には、各自報告書を提出し、プレゼンテーション能力を鍛えるため、パワーポイントを使って「報告会」を実施する予定です。



### 就職ガイダンス・セミナー

就職ガイダンス・セミナーは、理解しやすい・即効性がある・学生から要望があるなどを基準に企画し、課外セミナーとして開催しています。

後援会の支援により、夏休みには「公務員試験対策サマーセミナー」を開催し、公務員を目指す学生の支援にも力を入れます。公務員への就職は、例年厳しい状況が続きますが、このセミナーが少しでも一助になると考えています。

10月以降の開催計画については、別紙にまとめていますので、御子息、御息女に積極的に参加するようお声掛けいただくようお願いします。



### 市大業界研究ツアー

大手就職情報企業が主催する大規模な合同企業セミナーの多くは、東京や大阪で開催されます。学生が参加するには、経済的負担が大きいことから、参加する学生に対して大学・後援会が旅費・宿泊などの支援をするものです。

今年度も多くの学生の業界研究・企業研究を支援するため、東京や大阪でのイベントに参加する学生に対し、より多くの学生に活用してほしいと考えています。



### 大学説明会・情報交換会

就職活動にあたり、企業の人事担当者を招いて、本学の教育・研究への理解を促し、またPRするため「大学説明会・情報交換会」を実施します。

今年度は平成22年11月5日(金)に開催する予定で、多くの企業の人事担当者に参加を呼びかけます。当日は、各学部の学生がプレゼンを行い、広く特色ある本学の情報発信することにより、学生の就職支援へと結びつけたいと考えています。



### 学内合同企業セミナー

企業の人事担当者と学生の情報交換の場として始めた「学内合同企業セミナー」を今年度も開催します。就職活動の早期化に合わせて1月に開催を予定し、1日あたり30社前後を招き、約一週間開催する予定です。

過去「学内合同企業セミナー」の参加企業に多くの学生が内定をしています。

これからも、本学の学生と相性の良い企業を数多くお招きし、多くの学生の就職支援に直接つながる事業として力を入れていきます。



## 第17回市大祭開催 ……広島市立大学 大学祭実行委員会委員長 森川 裕介

10月23日(土)・24日(日)、毎年恒例の市大祭が開催されます。

今年のテーマは「RUN RUN RUN!!」です。「走る、と一概に言っても”短距離”や”長距離”と目的に合わせて色々な走り方があります。走り方と同じく楽しみ方も色々あります。時には全力疾走、時には軽く流したり等様々な方法でこの市大祭を楽しんでほしい。そして誰もが「大学祭の成功」というゴールを目指し、全身で楽しみながら一步一步全力で「今」を駆け抜けてほしい」という思いがこのテーマに込められています。

昨年度とは様変わりしたステージやテーマに沿った装飾を施しているエントランスには皆様の目を引くことでしょう。また今年も数多くのイベントを用意しています。もちろん飛び入り参加もOKです。



他には模擬店やフリーマーケット、多彩なカフェや展示を多く出展し、市大祭を大いに盛り上げてくれます。後援会の皆さん、ぜひ市大祭にご来場ください!!

## 医務室だより ……医務室 保健師 上垣 和美

### 「前期を終えて」

4月に新入生を迎え、医務室に来る学生の顔ぶれも変化する中、慌しく前期が経過しました。年度初めの定期健康診断の受診率は学部生86.5% 大学院生75.4%で、ほぼ昨年並みでした。結果を受け取りに来ない学生については、昨年同様に授業やゼミの場で教員から渡していただきました。自分の健康について関心をもってもらうのは、なかなか難しい状況ですが、体脂肪測定や血圧測定を定期的に行なってチェックをしている学生も増えてきています。20年後、30年後に健康でいるために、今何に注意すればいいのかといった視点で、栄養や運動についての保健指導をすることも多くなってきました。

また、今年の新入生にはリニューアル版の「健康ガイド」と「自炊お助けノート」を配布しています。「食育」に重点をおいた「自炊お助けノート」は、学生からもっとメニューをたくさん載せてほしいと要望をいただいたので、来年度に向けて見直しをしようと思っているところです。

一方、学生相談(カウンセリング)の利用は、予約でいっぱいになることが多い状況が続いています。これまで、カウンセリングが必要な学生がもっと利用してくれることを願って取り組みを進め、利用者も増加してきましたが、最近少し気になることがあります。それはカウンセリングを受ければ問題が解決すると思われているのかなあと感じるということです。問題や悩みを乗り越えるのは本人自身です。誰も代わってあげることはできません。カウンセリングは、本人が自分と向き合って客観的に問題を受け止め解決に向けて動き出すためのお手伝い、あるいは一緒に考える作業だと捉えていただきたいと思います。場合によっては、心療内科や精神科といった専門機関での治療を要することもあるかもしれません。また、自分を見つめたり問題を整理するまでに長い時間が必要なケースもあると思います。表面的には小さな問題のようでも、本人や家族が大きな課題を抱えている場合もあるでしょう。本人が自分で決定し行動できるようにすることが大事だと思いますが、なかなか難しいです。

学生はもちろんですが、保護者のみなさまにも、学生相談(カウンセリング)についてご理解いただき、必要な場合は遠慮なくご利用いただきたいと思っています。

不明な点などありましたら、どうぞ医務室までご連絡ください。

